

## 第 53 回理事会議事録

1. 日 時：2019 年 1 月 25 日（金）午後 18 時 30 分～20 時 10 分
2. 場 所：東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者：【理事 10 名】 細田博之、鳩山勝郎、浅越ことみ、伊藤直彦、  
齋藤陽子、清水康裕、寺本直志、  
古川京司、山田和彦、吉田正  
【監事 1 名】 正村祐一  
【事務局 4 名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人管理部長、  
仲村篤志競技会事業部長代行、高野英樹普及事業部長  
(理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 10 名)

### 4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 52 回理事会議事録の承認について  
議事録案を承認した。

第 2 号議案 会員の逝去について  
以下の会員の逝去が報告された。  
石樽千恵子（会員番号 76456）  
飛鳥間秀治（会員番号 26659）  
小川信行（会員番号 246）  
眞野端（会員番号 5814）

第 3 号議案 平成 31（2019）年度予算案について  
鳩山会長代行より、来年度予算案について以下の説明があった。  
2019 年度はブリッジフェスティバルの非開催年度にあたり、開催年度である  
2020 年度と合計した 2 年間で収支均衡を目指している。ブリッジフェス  
ティバルの開催費用が約 1,400 万円であることから、2019 年度予算は 700 万円  
程度の黒字を目標としているところである。  
それに対して、2019 年度予算案は 711 万円の黒字である。12 月の理事会では  
314 万円の黒字予算が提出されたが、来年度は事務局の体制変更による人件費  
の減少が見込まれており、その反映を行った結果、約 400 万円の改善が見ら  
れた。それ以外の部分については、12 月時点と大きな違いはない。  
今後の見通しについては、人件費で変動の余地がいくらか残っているものの、  
それ以外の部分では大きな数字の動きはないと考えている。

予算案については作成方針を了承し、引き続き管理費および人件費の精査を進める。3月の企画委員会で最終調整を行うこととした。

事業計画案については3月の理事会への提出に向けて細部の修正を行うこととした。

#### 第4号議案 各委員会及び事業部報告

##### 1. 企画委員会

吉田企画委員長より1月の企画委員会については開催を見送った旨報告があった。

##### 2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より1月8日開催のセンター協議委員会について報告があった。

消費税対応については、各センターの対応の方針が値上げを検討中のセンター、値上げを行わない予定のセンターの概ね2種類に分かれており、一部のセンター間での調整が引き続き行われている。

連盟からセンターに移管を行ったリジョナルの前年優勝者の招待については、招待は移管時の条件にはあらず、主催センター側の裁量であることを確認した。移管時の条件である同等のサービスの実施とは参加者全体を総合して同程度であればよく、優勝者に手厚くするか中上位に手厚くするかなどの判断は主催者が行うことができる。その旨を各センターへ1月に通知した。

##### 3. 競技委員会

寺本競技委員長より1月9日開催の第257回競技委員会について報告があった。

2クラブオープンを行う際の「強いハンドの定義」について変更を行った。

##### 4. 普及事業部

高野普及事業部長より以下の報告があった。

新入会無料キャンペーン、紹介キャンペーンを2019年も実施する。

春に行われる首都圏センター主催の体験教室、入門講習会の告知広告を朝日新聞、読売新聞、毎日新聞（東京のみ）に2月下旬から3月上旬にかけて掲載する。

高野普及事業部長より2019年度ユース APBF 選手権のヤングスターおよびガールズ部門の代表選手、NPCについて以下の提案があり、検討の結果これを了承した。

ヤングスター部門（21歳未満）

井上布武、小野想真、川端須開、芹川祐輔、滝澤憲、松本颯

ガールズ部門（26歳未満の女性）

内山香、後閑優里菜、駒本理恵、坂口美伊、土井茉里花、吉川奈津美  
同大会の NPC は三浦裕明を含む 2 名とする  
高野普及事業部長より第 2 回 WBF ユースオンライン選手権について報告  
された。

5. 競技会事業部

仲村競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況および資格獲得者の  
報告があった。

仲村競技会事業部長代行より東京インビテーション運営企画書につい  
て説明があった。検討の結果、企画書に基づく開催を承認した。

6. 国際交流事業部

高野国際交流事業部長代行より JOC への加盟継続の申請書の提出にあた  
り、JOC 加盟団体規定第 9 条への適応を目的とし、組織規定の改訂、公  
益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) への加盟申請、アンチ・  
ドーピング委員会の新設、アンチ・ドーピング規定の制定、および委員会  
規定の改訂を行う旨提案があった。

JADA への加盟については、加盟の必要性を認め、適切に告知を行うこと  
とした。

アンチ・ドーピング規定の制定については、内容については承認し、既存  
の懲戒規則との関連性を確認することとした。

アンチ・ドーピング委員会のメンバーについては承認し、スポーツフォー  
マシストなどの専門家をメンバーに追加することもあり得るとした。

上記の提案に関する検討を行い、これを承認した。

アンチ・ドーピング委員会

委員長 寺本直志

委員 三浦裕明、高野英樹

高野国際交流事業部長代行より第 22 回横浜ブリッジフェスティバルの申  
込み状況について報告された。

7. 法人・管理部

清水事務局長代行より 12 月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、お  
よび月次収支実績について説明があった。

第 5 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2019 年 3 月 22 日 (金) 午後 6 時 30 分に開催する。

当日配布資料：第 3 号議案「2019 年度事業計画書」

第 4 号議案「ユース報告」

「JOC 加盟団体の資格更新について」「組織規則」「アンチ・ドーピング委員会規則」「委員会規則」「アンチ・ドーピング規定」「YokohamaCup2019」

平成 31 年 1 月 25 日 (2019 年)

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 53 回理事会

代表理事 細田博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 正村 祐一